

H20年度総合評価(産業観光課所管施設)

施設名	勤労者センター	文化工房	産業文化センター		
指定管理者名	(財)多治見市事業公社	(株)共栄電気炉製作所	(株)ビーウェル		
指定期間	3年(H18/4/1～H21/3/31)	5年(H18/4/1～H23/3/31)	5年(H18/4/1～H23/3/31)		
設置目的	勤労者の福祉の増進を図るための施設。	ものづくりと人の交流の場の提供を通して、来訪者の誘致を促進し、中心市街地の活性化に資するための工房・ギャラリー。	産業及び生活文化に関する事業の実施及び生活情報等の提供により、産業の振興を図り、市民の生活文化の向上に寄与するための施設。		
報告書類等の提出状況	良好	良好	良好		
運営・利用状況	利用状況	良好	良好		
	市事業の実施	－	良好		
	自主事業	良好	良好		
施設管理状況	施設管理	良好	良好		
	備品管理	良好	良好		
	その他管理	良好	良好		
収支状況(円)	総収入	9,370,200	30,323,112	75,634,223	
	内利用料金収入	－	1,566,420	14,134,223	
	内指定管理料	9,370,200	17,900,000	61,500,000	
	支出	9,003,909	29,909,026	72,560,227	
	収支	366,291	414,086	3,073,996	
市民利用者の声の反映	良好	良好	良好		
全体的評価	運営管理に関しては各項目の評価からも良好と判断される。	ギャラリー企画展や自主企画講座に対する利用者の評価は高い。魅力的な企画内容に加えてマスコミ露出度も高く、集客数の増加につながっている。今後も魅力的な企画展・講座を開催するとともに工房の利用率向上に向けた事業展開が望まれる。	全体的に適正に管理されている。ただし、産業と文化の発展に資すべき施設であることを十分に認識し、本来の設置目的に適合するような自主事業を積極的に開催する必要がある。 また、施設の利用率を上げるための積極的な取り組みが必要である。		
利用人数・前年度比増減率	延べ25,774人 (前年度比6.5%増)	延べ20,320人 (前年度比10.2%増)	延べ79,108人 (前年度比7.5%増)		
増減の理由	利用者は昨年よりもわずかであるが増加した。	ギャラリーの利用日数が前年比で31日増。	イベントプラザの活用(展示等)による利用人数の増加が要因であると考えられる。		